

綾城(竜尾城)(指定無)(東諸県郡綾町大字北俣)

綾城(あやじょう)は現在の宮崎県綾町にあったとされる山城。築城は1331年~1334年。足利尊氏の家臣であった細川小四郎義門が築いたと言われる。別名・竜尾城

歴史

細川小四郎義門の子、細川義遠は綾氏を名乗り、綾氏は数代この城にて綾を支配したがその後伊東氏の配下に入り、綾城は伊東四十八城の一つとして伊東氏の支城となる。1577年(天正5年)に伊東氏が伊東崩れと呼ばれる家臣の多数離反と島津氏の攻撃を受け滅亡した際は最後まで伊東氏につき、落城。伊東氏滅亡後は島津氏の支城となり、1615年に江戸幕府の一国一城令により、綾城は廃城となった。

現在の綾城は、日本城郭協会に依頼した中世山城の築城についての数次にわたる調査に基づいて考察され、昭和60年春に戦国初期城楼建造物として構築された[\[1\]](#)もので、当時の綾城がこのような建築物であったとしても不都合な点はないが、かつての綾城がこのような建築物であったというわけではない。

Wikipediaによる

